21世紀は、黒埼町との合併とともに幕を開けました。
新潟市は、県内一の面積となった農地や豊かな自然環境と、高次都市機能とが調和・共存するまちづくりを進めていきます。

文化創造都市

郷土歴史博物館の建設に着手

西海岸公園屋内プールが完成

信濃川と調和した港町を表現する歴史・文化ゾーンの中核施設、郷土歴史博物館の建設に着手します。敷地内に堀と柳を再現するほか、常設展示室では、水をメーンテーマに、本市の歴史を模型、絵画、映像などで分かりやすく展示します。

また、西海岸公園屋内プールが来年春に完成予定。200席の観客席を備え、飛び込みや水球、シンクロナイズドスイミングなどにも対応できる多目的プールや、幼児用プールを設置します。少年野球場にナイター設備を設けるなど、周辺の整備も併せて行います。

郷土歴史博物館の常設展示室のイメージ図

コミュニティハウスの建設進む

地域の交流の場として、中学校区ごとに整備を進めているコミュニティハウスを、上山中学校区に建設します。

市民芸術文化会館事業に助成

引き続き音楽・演劇・能楽など多彩な主催事業を展開していきます。また、小学5年生全員を対象とした東京交響楽団の演奏会「子どもコンサート」も継続して実施します。

生涯学習センター新国際友好会館

市民の自発的な学習活動を支援し、多様化・高度化する学習ニーズにこたえるための拠点施設として旧礎小跡地に建設する、生涯学習センターの基本設計に着手します。同センターは、機能を拡充した新国際友好会館との複合施設。施設の一部を共有し、交流機会の拡大を図ります。

黒埼市民会館

黒埼地区の生涯学習・文化活動の拠点施設として整備する、黒埼市民会館の基本構想の策定を行います。

中枢拠点都市

W杯開催に向け取り組みを強化

中心市街地活性化に新たな施策

W杯に向けて10カ国語の語学講座や市民活動の支援などを継続して行うほか、新たにチューリップ花いっぱい運動・フラワータワー整備、市出身の漫画家のイラストを活用したマンガ活用事業、「新潟の歴史と魅力を学ぶ」講座、市民サッカー大会、ナント美術館展準備などに取り組みます。

また、5月末から6月初旬に新潟スタジアムで開催されるW杯プレ大会で、記念事業を実施します。

基盤整備では、新潟スタジアムへの歩行者誘導標識の設置やけやき通りの歩道改修など、会場につながる歩車道の整備を行うほか、弁天線全線での暫定4車線化を目指します。

W杯開催時の一部供用を目指して国が建設している、新潟みなとトンネルと柳都大橋の関連道路の整備を進めます。

大新潟観光物産展を開催

新潟の特産品を広く紹介・宣伝する、大新潟観光物産展を11月に産業振興センターで開催します。

また、W杯に向けて新潟を代表する土産品のアイデアを募集し、開発を支援するほか、新潟空港内に情報発信の場を設置し、観光・物産のPRに努めます。

地域情報化の推進

市立学校や中央公民館などで約1万5000人を対象に、インターネットが使えるまでの基礎技能などを習得できる、IT（情報通信技術）講習会を開催。消費生活センターでも、来場者に向けた消費生活情報の提供や、消費者向けのパソコン講習を実施します。

中心市街地活性化に向けて

新たに、複数商店街が共同で実施するイベントへの助成や西堀地下駐車場の取得・運営を行います。

また、市、商工会議所、商店街、地元住民で商店街活性化に向けた勉強会を行い、まちづくりのイメージ図の作成などを進めます。

起業家を支援

中小企業への制度融資を拡充し、引き続き小商工業者の経営を支援するほか、新規開業を目指す商業未経験者にはミニショップを、ITを活用して新たな事業を行おうとする人などには情報通信インフラの整備したオフィススペースを提供し、商店街の担い手や起業家の育成を図ります。

新潟駅周辺整備

都市計画案策定に向けて、幹線道路や市街地整備などについて引き続き調査・検討を進めるとともに、道路などの整備イメージを作成します。

また、駅前広場・駅舎の整備計画を、市民の参加を得ながらコンペ方式で策定します。

人にやさしいみちづくり

まちの中に、潤いとゆとりの感じられる歩行者優先の道路を整備しようと、ふれあい散策ロードとして、新たに本町通6番町アーケード内の歩道を整備します。

また、郷土歴史博物館を取り込んだ、にいがた下町散歩道のネットワーク化を進めるため、調査検討を行います。

園芸銘産品の育成

全国に誇れる園芸銘産品として、新テッポウユリ「ホワイト阿賀」に続き、第2号「にいがた十全ナス」の生産・流通を支援します。

農業生産の振興と経営安定化に向けて

米の生産調整が進む中、野菜など本市の実情に即した特例作物への転作の推進や生産調整緊急拡大分への対応など、多面的な支援を行います。

合併の推進

政令指定都市を目指し、広域的な合併に向けた調査研究や周辺市町村との意見交換を行います。

情報化の進む中学校の授業（白新中学校）

健康福祉都市

高齢者 障害者 の福祉サービスを充実

乳幼児医療費の助成対象を拡大

乳幼児医療費の助成対象年齢を、県の制度に上乗せし、入院は就学前まで、外来は3歳まで拡大します。

1歳6カ月児、3歳児などの健康診査に心理相談員を配置し、保護者の育児不安、乳幼児の精神発達障害など子育ての悩みにこたえます。

地域での子育て支援の充実を図るため、子育てサークルの代表者を対象に、地域の子育ての中心となるリーダーとして必要な専門的知識や実技などを習得してもらう講習会を開催します。

保育園での乳児保育や延長保育、一時保育を拡充するほか、東新潟に整備した病後児デイサービスセンターを西新潟にも整備します。

元気に楽しく遊ぶ子どもたち（ロータリー保育園）

児童虐待を防止

深刻化する児童虐待に対応するため、市児童虐待防止連絡協議会を中心に、地域間でのネットワークを整備・強化し、虐待防止マニュアルの作成やパンフレットなどを配布するほか、広範囲にわたる啓発活動を行います。

介護保険制度の円滑な運営

介護サービスの十分な提供に努めるため、訪問介護、デイサービス、ショートステイなどの在宅サービスや施設サービスの整備・充実を引き続き進めます。

訪問理美容サービス

要介護度1から5で、理美容院に出向くことが困難な人が、自宅で理美容サービスを受ける場合、出張費の一部を負担します。

高齢者福祉施設の整備

特別養護老人ホーム「いがた新生園」の増築が完了。ケアハウス「穂波の里」、グループホーム「こもれび」が完成します。

また、特別養護老人ホーム「新潟めぐみ園」、ケアハウス「有隣」、デイサービスセンター「なかの」と「新寿園」の建設費を新たに助成します。

障害者の生活支援

64歳以下の看護手当対象難病患者で常時おむつが必要な人に、紙おむつを支給します。

知的障害者通所授産施設ワークセンター日和山の改築費を助成します。

住宅改修費の対象を拡大

在宅の要支援、または要介護度1から5の人と障害者の住宅改修費の助成を、借家を改修する場合も対象とします。

黒埼地域保健福祉センター

黒埼地区保健センターを地域保健福祉センターに拡充し、保健・福祉の機能を強化。福祉サービスの申請受け付けや、保健と福祉のサービスの調整などを行うほか、さまざまな健康教室などを開催し、ほかの地域保健福祉センターと同様の事業を始めます。

市民病院の診療体制の充実

新病院建設のための基本計画を策定します。

新病院オープンまで医療環境を維持するため、現病院の改修を行います。

小児生活習慣病の予防

小児生活習慣病の健診をモデル校6校で小学4年生と中学1年生の希望者を対象に引き続き行います。

快適生活都市

古紙回収を促進～ 集団資源回収 奨励金 の増額など

小新・関新ポンプ場の工事が本格化

け再資源化の回収ルートに乗せていくために、市民リサイクル運動の推進を図っていきます。

集団資源回収の古紙類に対する奨励金を、1・5円から6円に引き上げます。

エコープラザで実施している古紙の拠点回収事業を、市役所第1分館、黒埼支所、各地区事務所にも拡大し、毎週土曜日に行います。6分別収集・集団資源回収功労者の表彰も実施します。

事業系ごみの減量化・資源化を推進するために、専門指導員を配置し、事業所指導を強化します。

環境保全を推進 天然ガスごみ収集車導入

二酸化炭素排出量が削減できる天然ガスごみ収集車を、平成12年度の4台に続き3台導入します。

酸性雨関連国際会議への支援や、姉妹友好都市のハバロフスク市・ハルビン市との3都市間環境保護交流を行うなど、国際環境協力を推進します。

図書館サービスの充実

統合後の長嶺小跡地に建設を予定している中央図書館の基本計画策定、黒埼図書館の増築に向けた実施設計などを行います。また、午後7時までの夜間開館を6月から黒埼図書館でも始めるほか、春と秋の読書週間に、全館で祝日開館を実施します。

体験学習の推進

子どもたちの自主性や協調性を育てるため、キャンプなどの自然体験学習を継続して推進します。

教育情報ネットワークの整備

コンピューターを活用して学習効果を高めるため、市立の小・中学校、高校の図書室に校内情報通信網（LAN）の整備を進めます。

学習環境の整備

東山の下小校舎の全面改築に着手するほか、寄居中の校舎が完成します。養護学校には木造の体育館を建設し、体温調節のできない子どもに配慮して、一部に床暖房設備を導入します。

黒埼南部地区統合小学校

黒鳥・木場・板井小の統合小学校整備に向け、用地取得と基本設計などを行います。

新生市立高校

15年4月開校予定の新生市立高校の建設に着手します。同校は、県内初の普通科総合選択制を採用するなど、多様な専門学科を設置します。

中学校給食の実施

弁当併用・民間委託方式での中学校給食を、15年度までに全校で実施する予定です。13年度は、モデル校2校（山潟・小針中）で配膳室とランチルームを整備し実施するほか、10校で空き教室などを利用して配膳室の整備を行います。

身近な自然との共生 豊かな水辺空間の創出

用排水路などを活用して、魚類や水生昆虫の生息空間を復元する、水辺環境の再生モデル調査を実施します。

島見町・太夫浜地区に整備を進めている「海辺の森」が完成。青山海岸に海浜緑地「なぎさのふれあい広場」の整備を進めます。

信濃川やすらぎ堤右岸については、万代シティから気象台までの間の緑地整備を実施。つくし野地先の阿賀野川右岸についても、緑地整備の検討を進めます。

花と緑の普及推進機能と園芸作物の試験調査機能を兼ね備えた「植物園」の整備に向け、用地の先行取得を行います。

特色ある公園の整備

遺跡ゾーンなどを想定した「蔵岡公園」の概略設計を実施します。黒埼地区では「宮のもり・木場城公園」「山田河川敷公園」「金巻の池周辺公園」「大野小学校区公園」の実施設計も行います。

下水道整備と雨水対策事業の推進

下水道整備については、農業集落排水などを含む普及率（平成14年度の西川流域下水道完成後に供用となる黒埼地区は除く）が、12年度末に比べて2・7%増の71・2%に達する見込みです。

雨水対策については、小新・関新ポンプ場の土木工事が本格化し、下山ポンプ場の工事にも着手。東堀・関新・坂井輪・五十嵐・物見山幹線などの雨水幹線の整備を進めていくほか、万代、浦山、山木戸地区などで、貯留管や貯留池を設置するなど、局所雨水対策を実施します。

学校グラウンドへの雨水貯留浸透施設の設置や、公共施設への雨水浸透ますなどの設置を進めていくとともに、一般家庭に雨水浸透ますや貯留タンクを設置する場合の助成を行います。

信濃川浄水場の建設

老朽化の進む鳥屋野浄水場に替わる施設として整備する、高度浄水処理施設を備えた信濃川浄水場の建設が本格化します。

消防情報ネットワーク化の推進

消防局と21カ所すべての消防署・出張所を情報通信網（LAN）で結び、災害対応の強化と市民への情報提供の迅速化を図っていきます。

関新ポンプ場の完成予想図

〈中枢拠点都市〉に向けた主な事業と予算額　（単位万円）

ワールドカップサッカー開催対策	3億2153	人にやさしいみちづくり	6億7980
地域情報化の推進	9億8882	中小企業への制度融資(新規融資枠)	241億
広域合併の推進	900	中心市街地活性化への取り組み	21億602
弁天線ほか幹線道路の整備	69億450	新規開業・起業者への支援	3979
新潟駅周辺整備および連続立体交差事業の推進	1億1860	商店街にぎわい回復作戦の展開	8241
新潟空港の整備と機能強化の推進	1億4802	観光イベント・観光宣伝の充実	2億3476
新潟みなとトンネル右岸立坑展望展示室の建設	1億1250	総合卸売センターの整備	7億9490
		園芸銘産品の育成	905
		水田農業経営確立対策	1億7998
		元島橋橋りょう整備	3億5000
		電線類地中化の推進	5億2300

〈文化創造都市〉に向けた主な事業と予算額　（単位万円）

郷土歴史博物館の建設	15億700	西海岸公園屋内プールの建設	25億1700
コミュニティハウスの建設	1億7800	小中学校などの改築・改修	40億1650
市民芸術文化会館事業補助金	2億9700	黒埼南部地区統合小学校の整備	6億4000
子どもコンサートの開催	1795	国際理解教育の推進	3662
水族館・美術館の改修	1億190	新生市立高等学校の建設	10億2700
学校施設の有効活用	1億4889	新潟青陵大学、新潟医療福祉大学の創設費助成	11億5680
生涯学習センター・新国際友好会館の整備	3800	体験学習の推進	2274
黒埼市民会館の整備	500	教育情報ネットワークの整備	4億6364
図書館の整備とサービスの充実	5786	中学校給食の実施	4億6000

〈快適生活都市〉に向けた主な事業と予算額　（単位万円）

6分別収集の定着とリサイクル作戦の推進	4億5991	農業集落排水の整備	2億7070
事業系ごみ減量化の推進	520	公共施設の雨水貯留浸透対策	1億2000
天然ガスごみ収集車の導入	4226	宅地内雨水貯留浸透施設設置の助成	7000
国際環境協力の推進	520	信濃川浄水場の建設	29億8067
植物園の整備	27億5110	上水道の配水管網の整備	21億9088
豊かな水辺空間の創出	6億1212	舞平し尿処理施設の整備	1億9775
特色ある公園の整備	4億6050	公営住宅の建設と改修	9億2200
公共下水道の整備・雨水対策	258億1039	消防情報ネットワーク化の推進	1720
流域下水道の整備	7億6947	黒埼地区における消防・防災情報の体制整備	5403

〈健康福祉都市〉に向けた主な事業と予算額　（単位万円）

乳幼児・妊産婦医療費への助成	5億5018	高齢者の社会参加促進と生きがい・健康づくり	2億6203
地域との連携による子育て支援などの充実	4831	障害者へのホームヘルパー派遣	3億4795
乳児保育の充実	5億8414	難病患者への在宅生活支援	1435
延長保育・一時的保育の充実	3億5097	障害者の社会参加の促進	2億2001
病後児デイサービス	1956	知的障害者通所授産施設「ワークセンター日和山」建設への助成	1億4779
ひまわりクラブの運営・整備	4億4709	市民病院の診療体制の充実	15億57
介護サービスの充実	218億	救急医療体制の充実	2億6403
在宅介護・自立への支援	4億7098	市民健康診査の充実	11億1131
特別養護老人ホームなど建設への助成	10億7219	小児生活習慣病の予防	120

（施設名は仮称のものもあります）

（千円以下切り捨て）